

縣陵

KENRYO

Matsumoto Agatagaoka Senior High School

129



「臥薪」(全国総文祭出品作品)



02 役員あいさつ

04 学習環境整備事業(PTA作業)

05 北信越地区PTA連合会研究大会石川大会・3学年PTA

06 1・2学年合同PTA講演会

07 学年PTA・学級PTA

08 2015合唱コンクール

10 強歩大会

11 PTA研修旅行～早稲田大学訪問～

12 各地区 PTA懇談会

13 私の青春時代 vol.8 「私の高校生活」

14 平成27年度 部活動報告 新人戦等大会結果／活躍する縣陵生

15 写真で振り返る縣陵の一年



一年を振り返って

PTA会長 野村 雄二郎

この広報の発行をもって平成27年度の縣陵PTA事業が終わります。保護者の皆様、永原校長先生はじめ学校関係者の皆様のご支援、ご協力によりこれまでのPTA活動を円滑に進める事ができました。関係の皆様に深く感謝申し上げます。

本年度は、これまでのPTA活動を見直す年度と考え、それぞれの事業を吟味してまいりました。その中で「強歩大会の見守り」、「PTA研修旅行」等、PTAでなければ出来ない事業については昨年どおりに実施しました。一方で、PTA以外でも参加が可能な「PTA講演会」については取りやめることにしました。実施したそれぞれの事業には大勢の皆様のご参加をいただいで盛大に執り行い、有意義なものにすることができました。また、今年度はPTA予算から支出し、学校環境の

改善に取り組みました。扇風機の無い教室への扇風機の設置や合宿所の畳替えを行いました。私は、PTA活動は会員の皆様が無理することなく楽しんで活動に参加し、結果として子ども達や先生方の支援に繋がるのが良いと考えています。本年度全体としてはこの方向に一步近づけたのではないかと考えています。変化する社会の中で今後縣陵PTAを更に発展させていく必要があります。その為には、PTA会員皆様のご協力が不可欠です。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

私がPTA役員をさせていただいて感じたのは、縣陵の生徒達の素晴らしさです。私が学校で、生徒さん達と会うと、きちんと挨拶をしてくれますし、まじめに良く勉強しています。部活動も活発でみんなが真剣に取り組んでいま

す。こうした生徒達が学校全体の雰囲気明るく楽しいものに作り上げ、更に、この良い雰囲気が生徒達の成長を促す、好循環が縣陵にはあると思います。この縣陵の素晴らしい雰囲気が今後も維持、発展することをご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



心に残った研修旅行

校長 永原 経明

本年度もいよいよ節目の時期を前にしております。皆様方には、一年間、野村PTA会長を先頭に、強歩大会、研修旅行、地区懇談会、会報の発行等々、ご協力とご支援をいただきました。感謝申し上げます。

この一年間のPTA活動の中では、学んだり、感動したりすることが多々ありました。

PTA研修旅行での話です。本年度は早稲田大学を訪問しました。施設の見学後、早稲田在学中の本校OB・OGと会い、グループごとに高校時代の生活、学習の方法、進路決定や大学生活等を語っていただくという企画がありました。彼らにとって、見も知らぬ10名前後の大人を相手に、自分を語るというのは容易なことではないはずです。しかし、本当に感心するほど、しっかりと話をしてくれました。

私は3名の方から話を聞きましたが、共通した内容がありました。それは、「一人暮らしをしてみて、初めて親の有り難さが分かりました。」というフレーズです。表現内容は、人により若干違いますが、食事を作ってくれたこと、洗濯をしてもらっていたこと、励ましてもらったこと等々のことでした。心から感謝の思いをもっているのだと思いました。

「感謝」という二文字。生活全体がとても便利になっている今の社会で、「感謝する」、そして「親に感謝」ということは、意外と忘れがちなことかもしれません。利益を生むための効果や効率が強調されがちな社会で、押しやられがちです。「感謝」は、直接には利益とはつながりませんが、人間らしさや心の通う社会を作る根本の一つです。とても、清々しい思い、また、このようなOB・OGをもつ本校を誇らしく思いながらの帰路でした。



さて、地区の懇談会では、直接、皆さま方から要望や御意見をお聞きすることができて、大変よかったと思っております。まず、環境面については、本年度、PTAや同窓会のご協力で、扇風機がなかった12教室(46台)への設置、部室の窓ガラスの取り替え、合宿所の畳がえ、ウッドデッキの修理、トイレの整備、廊下の破損タイルの交換等々ができました。また、学習、部活動等につきましても様々な御意見を伺いました。学校が気づいていなかったことを教えていただいたと思っております。それらは、十分に吟味して、これからも子どもたちの学習の質の向上につながるよう改善をはかっていきます。

この文を書いている“今”は、センター試験の当日です。三年生の皆さんは、必死に問題を解いていることでしょう。健闘を祈ります。

平成27年度のPTA活動を振り返って

PTA副会長 忠地 祐一

今年度のPTA活動も、会員の皆様のおかげで計画していた事業も終わり、今年度の各事業の反省を行い次年度への引き継ぐ時期になっています。各事業にご協力いただいた役員・会員の皆様に感謝申し上げます。

今年も多くのPTA連合会に参加させていただきましたが、他校では高校でもPTA活動が盛んに行われています。少子化の中で学校に任せるだけでなく、PTAが独自性・主体性をもって取り組んでいる他校のPTA活動の様子は大変参考になりました。その中で今年度はここ数年のPTA活動の中で

は転換点になった1年だったように思います。慣例だった事業も改めて見直しを図り、学校との連携の中で教育環境の整備を行いました。また次年度にどうPTA活動を充実した内容にすべきかについても活発に議論しました。

今年度も残りわずかですが、生徒にとってより良い学校にするためにしっかりと総括し次年度につなげていきたいと思っています。



県陵PTA 2015

PTA副会長 岩垂 彰

平素は県陵PTA活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

総務・広報・地区交流と大きく3つの委員会に分かれて活動いただきました。

総務…主に強歩大会でした。多くの保護者の方々が各ポイントにて見守って下さいました。早朝から果物の準備もしていただきました。

広報…とってもセンスのいい会報を発行していただきました。様々な行事に記者として参加いただきました。

地区交流…地区懇談会の課題検討、PTA研修会(早稲田大学の見学)

の企画運営をしていただきました。

委員として主体的に活動頂いた皆さんに加え、多くの会員の方々にもご協力頂きました。

この場をお借りして感謝申し上げます。来る県陵PTA2016もよろしくお願い致します。



「教育の変革期を迎えて」

教頭 篠島 良一

強歩大会、学校・地域清掃、PTA研修旅行へのご協力や企画、会報の発行等、日頃より本校PTA活動へのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

国内国外の大きな時代変化を背景として教育も変革の時期を迎えております。未来に生きる子供たち一人ひとりにとって必要な能力は、(1)十分な知識・技能、(2)それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力、そして(3)これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働

して学ぶ態度、と言われております。本校においても教職員一丸となりこの変革に取り組んでいるところです。

活発なPTA活動が本校の教育活動を支え、保護者の皆様と教職員の協働による地道な取り組みが、未来に生きる子供たちへの教育の厚みに繋がっていると感じております。今後とも本校への変わらぬご協力をお願い申し上げます。



9/5。PTA作業 (学習環境事業)

- 日時：9月5日(土)午前9時～11時
- 場所：学校周辺・敷地内清掃
- 参加人数：約90名

本年度PTA作業は、PTA会員、同窓生、生徒会役員により、学校周辺・敷地内清掃、駐車場の砂利敷き、および中庭デッキのペンキ塗りを行いました。前日までは雨続きだったのですが、秋晴れのさわやかな天気になり、大勢の方が参加しました。7班に分かれて、それぞれゴミ拾いや作業を分担し、行いました。

参加者の声

普段子供たちが通っている地域をきれいにすることができてよかった。生徒会の役員の方たちと一緒に作業でき、学校の様子・進路のアドバイスなど聞くことができてよかった。

(1年保護者 奥永 昌恵)

作業しながら遠足の様子などを楽しくお話が聞けて、生徒会役員の生徒さんたちが気さくに話をしてくれたことが印象に残り、とても有意義な作業時間でした。

(1年保護者 丸山 知恵子)



学習環境整備事業 成果と課題

改善箇所

- 1、2年普通教室の天井扇風機の設置
(1、2年全教室に扇風機が設置されることになりました。)

- 合宿所の畳が数十年ぶりに入れ替えられました。

備品購入

- 地区PTA用にパソコン・プロジェクター購入

縣陵の今後の課題および改善点

- 一部、交換、改修したものの、依然として危険箇所、開け閉め困難な窓ガラスが残っており、県に改修を要望しています。

- プールの更衣室
テント内での着替えという劣悪な環境です。県にも新たな更衣室設置を強く要望しています。



◀張り替え前



張り替え後▶

7/9。北信越地区PTA連合会 研究大会石川大会

平成27年度北信越地区高P連研究大会は、7月9日(木)10日(金)の2日間にわたって「未来圏からの風をつかめ～多様化する新時代を生きるために～」をテーマに掲げ、石川県立音楽堂を主会場に、北信越地区各地から1300名が参加し、盛大に開催されました。篠島教頭先生・正副会長の計4名で参加しました。

開会式に続き行われた歓迎アトラクションでは、小松工業高校吹奏楽部が一糸乱れぬマーチング演奏で会場を盛り上げました。

分科会では、高校教育・進路指導・

生徒指導・家庭教育とPTAの関わりをテーマに合計20本の実践事例が報告され、熱心な質疑応答のあと、助言者から指導・助言がありました。

ANAクラウンプラザホテルでの教育懇談会には、850名が参加しました。それぞれが情報交換をし、盛り上がりしました。

2日目は記念講演があり「激動する世界情勢と日本のゆくえ」と題して、国際ジャーナリスト・キャスターで明治大学国際日本学部教授の蟹江誠一氏に豊かな経験に基づき、穏やかな語り口ながらも示唆に富んだ中身の濃いお話



しをしていただきました。
閉会式では、大会宣言を「子どもたちの豊かな想像力と、他人を思いやる感性を育むことを願い、私たち自身も研鑽に努め、PTA活動の充実を図る」とし、大会を閉じました。

(岩垂 彰)

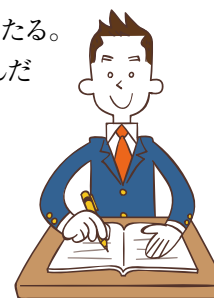


9/12。3学年PTA

入試説明会が行われました (170名…たくさんの保護者が参加しました)
進路指導主事の石田先生からセンター試験を中心としたお話(親へのアドバイスを含む)を聞きました。

親の心得

- 入試に向けて全体の予定を把握しておく。
- 進路指導は自立指導。(面倒見の良い親の子どもは自立が遅い。自分で生きていく力をつける。)
- 自分の力で受験を乗りきる体験をさせる為にも親はギリギリまで手を出さずサポートにあたる。
- 子どもが落ち込んだ時は励ます。



先輩保護者からのアドバイス

- 親も受験のシステム(センター試験のスケジュール、私立の併願)をきちんと把握しておく。
- 入試説明会に参加したほうがいい。
- 陰ながら応援する(口は出さないが見守っている)スタンスでサポートする。
- 食事、健康管理に気をつける。

このPTA会報が読まれる頃は前期試験が終わった時期です。石田先生、先輩保護者の方々のアドバイスを生かして、実力を発揮されていると思います。

3年生全員が志望する道へ進める事を心から願っています。



9/12 1・2学年合同PTA講演会

子どものやる気を引き出す魔法の質問～Why?からHow?へ～

●日時：9月12日(土)
●場所：県ヶ丘高校小体育館

講演内容

蒸し暑い中、132名もの参加者が“子どものやる気”と“魔法”の二文字に引き寄せられて集まりました。

まず、質問の心得として

- ①どんな答えも正解
- ②答えられなくてもOK
- ③答えを受け止める

この3つが大切であるとの説明がありました。その後、2人1組のワークショップを通して質問の仕方を学びました。

隣り合う参加者同士で「お互いの同じところを見つけてみて」の課題から始まりました。お互いの共通点（類似の法則）を見つけることは相手と心を通わせることができます。

次に「最近上手く行っていることは何ですか」の質問から、自分の良い点に気づくこと、質問者が相手を賞賛する実演を行いました。子どもとの会話の中で、足りないものばかり探すのではなく、子ども自身が良い点を認識する

●講師：青木 姫路子（あおきひろこ）氏
三洋電子（株）取締役会長
マツダミヒロ氏主催の「魔法の質問」
認定講師/キッズインストラクター



●魔法のしつもん●

- ①能動的に行動できるしつもん
- ②仲良くなりたい人と仲良くなれるしつもん
- ③雰囲気をよくするしつもん
- ④ほめ上手になるしつもん
- ⑤シャンパンタワーの法則
- ⑥行動やアイデアを引き出す効果的なしつもん
- ⑦未来の視点をもちつつ現在の行動に落とし込むしつもん
- ⑧学んだことをより明確にするしつもん

こと、それを共感し賞賛することの大切さを学びました。

子どもにWHY(なぜ?)と聞くと、言い訳しか返ってこないことはありませんか?そこで、HOW(どのように?)と聞いてみましょう。HOWと聞くことで、自分自身でアイデアや解決策を導き出すことができます。そして、「その先、何がしたい?」と聞いてみましょう。

最後に「皆さんの10年後はどうなっていますか」との質問がありました。直感で答えることで、自分でも気づかなかった新しいアイデアや希望が出てきます。

どんな子どもでも無限の可能性を持っています。その可能性に気づくきっかけは「質問」なのです。“質問に答える”“シンプルなことですが、それだけで子どものやる気を引き出すことが出来るのです。



参加者の感想

- 質問の仕方によって会話がかわることがわかりました。子どもへの声かけの参考にしたいと思いました。
- 子どもとの会話だけでなくいろいろな活用できるなと思いました。とても楽しい講演会でした。
- わが子に対して、日々小言を言っていたのでは子供の考える力や夢を奪ってしまっているのではないかと反省しました。否定(小言)ばかりではなく子どもの考えを受け止めることが、子供自身のやる気や夢(目標)を自分で見いだして行けるのかなと思いました。



学年PTA

1、2年合同 PTA 講演会に続いて、学年に分かれて、学年 PTA が開催されました。各学年ともに、学年全般、生活指導、進路選択・科目選択について、話を伺いました。



1 学年 PTA

- 1) 学校生活全般について
 - ・古典・数・英の平日補習
 - ・駿台ハイレベル模試
 - ・全国模試
- 2) 生活指導部から
 - ・自転車の事故が多く、なかでも1年生の割合が高いので気を付けるように
 - ・校内で盗難の事案が何件ありますので、自己管理の徹底を
- 3) 文理選択について
 - ・進路志望・人生設計から選択
 - ・進学後に研究を深めたい分野から選択
 - ・学際系で文理の判断が難しい学部、学科を志望する場合は入試科目を調べて選択

2 学年 PTA

- 1) 学校生活全般について
 - ・部活動や生徒会など生徒それぞれが学校の中心に
 - ・自転車の安全運転徹底を
 - ・強歩大会への保護者の協力依頼
 - ・合唱コンクールに向け練習中
- 2) 来年度科目選択
 - ・科目選択に向け、生徒への説明
 - ・受験科目に直結するため、志望の方向性を考え、調べる必要がある
- 3) 進路について
 - ・駿台模試や全国模試の実施
 - ・大学入試センター試験スケジュール
 - ・推薦入試や AO 入試について
 - ・平日補習について

2学年学級PTA

2学年は学年 PTA に引き続いて、各クラスに分かれて学級 PTA を開催しました。同じクラスの保護者の皆さんと、日頃、子どもに関して疑問に思っていることの情報を共有できました。参加者は少なかつたものの、ざっくばらんに意見をかわすことができ、貴重な時間となりました。

短い時間でしたが、
日頃の悩みが共有できました



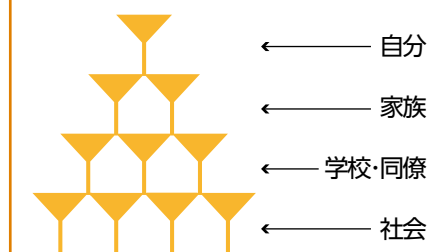
携帯を手放さない
注意しないと、ずっと
ゲームしている

合唱コンクールに
向けて
頑張ってます

部活は一生懸命だけど、
帰宅も遅いし勉強は
全然していないみたい

模試の結果
初めて見た！

進路ちゃんと
考えてるのかなあ



シャンパンタワーの法則

シャンパンタワーは、1番上が満たされないと下へは、流れていきません。自分の心が満たされないと家族・同僚・社会へと波及しません。まずは、自分の心を満たしてあげてください。

9/15 2015 合唱コンクール

爽やかな秋の兆しを感じられる中、今年も恒例の合唱コンクールが盛大に開催されました。どのクラスの発表からもこのコンクールに至るまでの選曲、練習、パフォーマンス等の色んなドラマが窺われ、楽しくも美しいクラス団結の姿を見ることができました。

受賞クラス

最優秀賞	3B『流浪の民』
金賞	3H『Some Nights』
金賞	3C『聞こえる』
銀賞	3D『ひとつの朝』
銀賞	3E『誕生』
銀賞	2G『走る川』
銅賞	3G『蒼鷺』
銅賞	2H『民衆の歌が聞こえるか?』
銅賞	3F『いのちの名前』

受賞者コメント

●最優秀賞

3B 鈴木 悠さん
我がクラスはこういった素晴らしい賞をとることは今まで無縁でした。でも、熱い思いで皆を引っ張ってくれた合唱係の千佳さん、ヤマ、歌う度優しい指導をしてくれた音部の悠里恵さん、ダイナミックな伴奏で盛り上げてく

れた三村さん、勉強等で忙しい中集まってくれたクラスの皆、そして田邊先生。そんな皆でこの素敵な賞をとれて本当に嬉しいです。3B HAPPY!

●ベストコンDUCTター賞

3D 海野 慧光さん
兎に角うれしかったです。クラスの皆が笑顔で楽しそうに歌ってくれるので幸せでした。

歌の力って凄いですよ!

●ベストコンDUCTター賞

3H 倉科 絵梨里さん
私が当日着ていたあのベストと全員で付けていたブローチは、実はクラスメートが作ってくれたものなんです。あの座ってたたいていたカホンという楽器も演奏者の彼がわざわざ知り合いから借りてきてくれました。3H全員が強い思いを持って歌ってくれたから私も楽しんで指揮ができました。本当に感謝です!

●ベストピアニスト賞

3B 三村 真央さん
まさか賞を取れると思っていなかったの、名前を呼ばれた時は本当に嬉

しかったです。

この賞は3Bの皆の支えがあったからこそ取れました。皆ありがとう!

3B HAPPY!!

保護者の方の感想

- ・当時の自分を思い出して、もう1回、高校生たくなりました!
- ・中学生とは、また違って合唱コンクールを楽しんでると感じた。
- ・自分の心も気持ち良い〜。楽しませてもらいました。

番外編 熱演賞??

先生方による合唱で毎年熱演してくださる数学の春日先生。生徒も保護者もそのパフォーマンス振りを密かに期待してる中、今年も裏切らず楽しませてくれました。



金賞 最優秀賞 3B『流浪の民』
指揮者：鈴木 悠さん
伴奏：三村 真央さん



金賞・最優秀賞受賞クラス 3B



2年時、全体の下から2番目の成績からの大下克上です!!!
やればできる!を実感して、人生の貴重な糧になりました

ベストコンDUCTター賞の二人



3H 倉科さん
全員の強い思いのおかげで楽しめました

3D 海野さん
みんなの笑顔に支えられました

当日の様子



あれ!? 生徒?



当日、いっしょうけんめい司会進行してくれた皆さんです。お疲れ様でした!



表彰状に感動した!おめでとう!



コンクールに先立って音楽部のみなさんが「さすが!」という合唱を披露

先生たちZARDの『負けないで』熱唱!



当日の会場の様子です。

優勝!

10/16 強歩大会



赤や黄色に美しい紅葉と空の青、空気が澄み渡り、思わず深呼吸したくなる清々しい秋麗な日、生徒数871名参加の強歩大会が行われました。今年で本大会はなんと60回目を迎えました。この伝統ある強歩大会は、学校を出発し男子32.9Km、女子28.0Kmの距離を決められた地点を所定時間内に通過しながら、再び学校に戻ってくるというのですが、そのコースは平坦な道のりではありません。牛伏寺を経由する勾配の急な坂道をのぼったり下ったりし、縣陵生たちの心身にプレッシャーをかける過酷なコースなのです。スタートからゴールまではルールを守れば基本的には自由。己の限界に挑戦し走る者も



いれば、秋の景色を楽しみ友人と語りながら目指す者もいます。スタート地点では明るい笑顔で手を振り、元気な声で「行ってきます」と言っていた生徒たちが距離を重ねるごとに口数も少なくなっていきますが、弱音を吐く人はいませ

ん。ここに縣陵の3大精神を感じました。多くの運動部は各々目標を決めてのぞんでいたようです。この日、揃いのペパーミントグリーンのTシャツの女子バレー部は、皆が50位以内に入ることを目標としているとのこと。にこやかに話してくれました。参加した生徒全員がそれぞれ思い思いの大会であったに違いありません。

さて、本大会が無事滞りなくできたのは校長先生はじめ諸先生方、そして保護者はじめとするボランティアの皆様、大勢の方々の支えがあつてのこと

を忘れてはなりません。PTAからは総務委員を中心に70余名が生徒の安全を見守りながら各ポイントで給水対応し、一人ひとりに声をかけその頑張りを支えました。手づくりの朱美ちゃん人形も大いに盛り上げ、ゴールではりんご、梨、飲み物が生徒たちに提供されました。今後このボランティア活動が多くの保護者の皆様の手によって、温かく繋げられていくことを願っています。



11/14 PTA研修旅行 ～早稲田大学訪問～



平成27年度の研修旅行は、11月14日に保護者52名、在校生18名、校長先生をはじめとする先生方18名、計78名の参加者で早稲田大学へ行きました。当日は、2台のバスに乗りして7時に松本駅を出発しました。あいにくの雨でしたが、バスの中では、参加者の自己紹介や進路指導の先生のお話があり有意義な時間を過ごしました。時間どおりに早稲田大学に到着し、ありがたいことに大熊会館前での集合写真撮影時には、雨がやんでくれてほっとしました。13時からの県ヶ丘高校卒業生との懇談会までは自由時間だったので、それぞれ昼食をとったり構内を見学しました。卒業生との懇談会では、7名の方に来ていただき7つの班に分かれ、各班ごとに3名の方にお話しをお聞き

することができました。主に、高校時代どのように勉強してきたのかをお聞きし、次のように答えていただいたことをまとめてみました。

- ①「どうせやるなら後悔しないようにやりきりなさい」と親に言われ勉強に励んだ。
- ②英単語は1日20個まで覚えると決めて、通学の電車内で覚えた。
- ③家ではかどらないので、自習室を使って勉強した。
- ④毎日3～4時間、休日は6時間の勉強をした。
- ⑤どの教科も基礎問題が大切。(どの学生も同じことをいっていた)
- ⑥苦手教科は、10年間のセンター試験の問題を繰り返し解いた。
- ⑦反復学習は大切で、苦手なところを集中して繰り返した。
- ⑧早く寝て夜中に起きて勉強した。
- ⑨定期テストに力を入れて勉強した。

最後に早稲田大学の印象を卒業生の方に聞いてみました。早稲田大学は、キャンパスがきれいで大学の支援

が充実している。とくに留学を考えている人は、学校側の支援が充実しているので留学しやすいと話していました。

研修旅行を通して感じたことは、自分の進路を早く決めた人はそれに向かって努力して着実に合格し、大学に入ってからさらに努力をして夢に向かって進んでいるように感じました。

自信に満ちたとても輝いていた7名の学生さんたちとの懇談会もあっという間に終わり、このような研修旅行を毎年行ってくれる学校に感謝し、また忙しい時間を割いて在校生のために貴重な意見を教えてくれた卒業生に感謝しつつ帰路につきました。



男子1位

吉野 元貴さん
(2年A組 陸上部)
記録/2時間 25分51秒

転んで、血を流しても頑張りました。野瀬先輩ありがとう！



女子1位

小山 ゆきさん
(2年C組 陸上部)
記録/2時間 7分7秒

2年連続1位はピンクのシャツのおかげです。親と友だちに感謝！

7~11月

各地区 PTA懇談会

高綱地区PTA懇談会に参加して



10月9日、松本市島立出張所で高綱地区PTA懇談会が開催されました。高綱地区では毎年秋に懇談会が開催されていますが、今年は永原校長先生と地区担当の先生に出席していただき盛大に行われました。

会の前半では、現役生徒の生活状況と、併せて、26年度卒業生の進路状況が報告されました。続く後半では、各

学年に分かれての懇談会が行われました。どの学年も、話題の中心は「進路」についてで、保護者側からは次々と質問が出され、予定時間を超えるほどの白熱した会になりました。

参加した保護者からは、「ほとんど顔見知りの方で、普段は見えない子供たちの学校での様子を聞くことができた。」「初歩的な進路の質問も率直に

できて良かった。」さらには「先生方も熱心に答えていただいて有意義だった。」などの感想が寄せられました。また1学年の保護者からは、「普段学校で開催される学年・学級PTAでは、先生方と直接話す機会がないが、地区懇談会では話すことができ参加して良かった。」また、3学年の保護者からは「親同士の意見交換ができる絶好の機会だと感じ、毎年参加しています。」という感想もありました。私も、今回あらためて参加してみて、「地区PTA懇談会は保護者と学校側の『本音』の話し合いができる場だ。」と感じました。



地区交流委員長 岡村 充恵

地区懇談会を終えて

平素は地区交流委員会にご協力いただきありがとうございます。

本年度も地区幹事、先生方、会員の皆様の協力により、地区PTAを開催することができました。

本年度は、大町・木曽方面で新たな開催地区が増えたこと、学校長、教頭先生のどちらかが必ず参加されて保護者の意見を聞いていただけたことが大きな収穫でした。また、途中からになってしまいましたが、新たに「学校紹介」のパワーポイントを上映できた地区があります。部活動の大会

の様子などをお伝えすることができました。来年度も内容を更新して、上映できたらと思います。

改めて開催地区をみてみますと、学校から近い通学区で昨年度は開催されていたのに、本年度見送られた地区が数か所ありました。

地区PTAは、学校の様子を知り、保護者の声を学校に伝えるための好機ですので、来年度以降もぜひ参加していただきたいと思います。

私の青春時代 vol.8



私の高校生活

社会科 教諭 井口 慶久 (第28回卒)



本記事の執筆にあたってインタビューとして協力してくれた3年H組長田明さんと、社会科研究室にて

私の高校生活は、到底PTA会員に読んでいただけるような内容ではない。完全なる不本意入学者であったからだ。地区の新入生歓迎コンパで、先輩たちに手荒な歓迎を受け、どこかのクラブに入らなければと思い、風土研究部に入部した。当時「風研」といえば、汚い柔道着を着て、学校中を走り回るような集団だった。考古学・歴史学の研究を行うクラブで、県下でも有名な部で、幾多の著名な研究者を輩出していた。長期休業には木曽の公民館に合宿して発掘作業を行ったり、坂井村（現、筑北村）の公民館に合宿して民俗調査をしたりして、その調査結果を夏休み中にまとめ、県陵祭で発表した。文化祭が夏休み明けだったので、可能なことだった。また、週1回程度、夏はソフトボール、冬はサッカーを行った。相手は、山岳部・心理研・白虹会・野球部が多かったと覚えている。なぜか中学時代にサッカー部に所属していた者が多く、野球部と試合をしても負けなかった。自称「第2サッカー部」だった。「風研」との出会いが、その後の私の生活を大きく変えた。大

学は商学部に進学したが、考古学研究会に入会し、4年間発掘調査に明け暮れた。教員になってからも、2度埋蔵文化財センターに赴任し、調査研究員として中央道長野線に伴う発掘調査に携わった。

部活動中心の生活を続けたため、学業成績のほうは芳しくなかった。入学時に、「この学校でなら勉強しなくても上位の成績はとれる」と勝手に思いこんだのも甘かった。5月の中間テストで、学年順位254位には唖然とした。その後、成績面ではいくらか持ち直したものの、最初さぼったことが大きく響いて、なかなか上位に食い込めなかった。そんなある日（確か2年次の10月20日だった）、どうせ大学に進学するのなら、面白そうな大学にしたいと考えた。そして、猛然と受験勉強を始めた。昨日までの自分と今日からの自分は違うのだと、自分に言い聞かせた。高校の名前で受験するのではないとも言い聞かせた。三日坊主と言われたくなかったので、もう一日頑張ろうと、努力を続けていくうち、勉強することが習慣となった。

2年の3月に、浪人が決まった山

岳部の先輩から、「これからは地方の国立より難関私大のほうがいいよ」と言われたのがきっかけで、3年の6月頃からは、私大を第一希望にし、国立大学と併願する計画を立てた。部活動との両立が苦しくなり、風土研究部を退部してしまったのは、今でも心残りである。自分の志望校の合格可能性は、9月の模試ではD判定であったが、12月の模試では大幅に向上した。模試の結果が良かったため、1月以降は、健康管理に重点を置き、守りに入ってしまった。これは大きな失敗だった。現役生はゴールを通り過ぎてても全力疾走するつもりでいたほうが良かったと、あとで思った。

高校生活の位置づけは、一人ひとり違う。部活動に青春を燃やすもいい、勉強面で自己の可能性に挑戦するもいい。感情を押し殺し、ただじっとしているだけの3年間はつまらない。皆さんの主体的な取り組みに期待する。

追記 「縣陵」と「県陵」の表記は、現在どちらを使用するという明確な決まりはありません。本会報の発行にあたっては、寄稿者の思いを尊重して編集いたしました。公称として用いる場合はこれまでの学校関係資料を参考に「県陵」表記に統一しました。ご了承ください。

編集後記

四月より広報委員長という立場になり、前任の委員長さんより引き継ぎをしました。予算を十分に活用して、今までとは違う広報を作ろうとなり、カラー印刷での発行になりました。いかがだったでしょうか。ここにPTA会報129号が無事完成しました。寄稿していただいた方々、取材をし、ページを編集していただいた広報委員の皆様へ深く感謝いたします。

(委員長 井ノ口 美佳)

写真のトリミングやメールの活用等、時代の進歩に乗って『カラー版横書き』と過去3年間の会報とは異なった形で今年度の会報を発行する事になりました。初のカラー版会報の発行に関わる事が出来た事うれしく思います。また発行にあたって多大なる尽力を頂いた皆様に感謝申し上げます。

(副委員長 大西 早苗)

新人戦等大会結果

9月下旬から12月上旬にかけて、運動部は新人戦、文化部は高等学校総文祭、新人戦、県大会等が行われました。中信大会を勝ち抜き、強豪校との対戦に多くの縣陵生が臨みました。結果をお知らせします。



● 運動部

陸 上		
走幅跳	森本知隼	1位
走り幅跳び	奥原大輝	4位
やり投げ	高波舞	4位
110mH	小松太一	6位
400mH	〃	8位

水 泳		
自由形 50m	岩原純子	1位
	中坊みり	3位
自由形 100m	岩原純子	1位
背泳ぎ 50m	玉川陽葉	6位
背泳ぎ 100m	〃	5位
背泳ぎ 200m	〃	6位
平泳ぎ 50m	柴田恵	5位
平泳ぎ 100m	〃	5位
平泳ぎ 200m	〃	2位
バタフライ 100m	中坊みり	5位
個人メドレー	〃	3位
	岩原純子	4位
フリーリレー 200m	滝澤楓、坂口かなえ、玉川陽葉、柴田恵	4位
フリーリレー 400m	岩原純子、玉川陽葉、柴田恵、中坊みり	2位
メドレーリレー	玉川陽葉、中坊みり、岩原純子、柴田恵	2位

サッカー	
長野県リーグ	一部2位
高校サッカー選手権大会長野県大会	Best 8

バドミントン		
男子団体		2回戦
女子団体		3位
女子ダブルス	(矢口実奈、忠地梓生)	Best 8
女子シングルス	矢口実奈	3位

剣 道		
女子団体		2回戦
女子個人	山崎成美	1回戦

弓 道		
女子個人	生川莉子	2位

空 手		
個人組手 男子	本間義毅	Best 16
団体組手 男子		1回戦
女子		1回戦

卓 球		
男子団体		2回戦
女子団体		Best 8
女子シングルス	青木多恵子	Best 8

バレー		
男 子		1回戦
女 子		2回戦

バスケット		
男 子		Best 16
県選抜		Best 8
女 子		1回戦

硬式テニス		
男子団体		1回戦
女子団体		3回戦

ソフトテニス		
男子ダブルス	飯沢一真、瀧澤裕太	1回戦
女子ダブルス	相澤友紀、村田美鈴	1回戦

● 文化部

棋道部		
将棋 男子個人戦A級	相野田	Best 16
囲碁 男子団体本選		3位
囲碁 男子個人戦	平出純也	2位

新聞部		
長野県高校新聞フェスティバル	実践講座「県総文新聞の製作」	

インターナショナル部		
ディベート大会	A チーム2位、Cチーム3位、Bチーム5位	

音楽部		
合唱コンクール 高校A(五木の子守歌)		銀賞

ダンス部		
総文祭		3位

吹奏楽部		
第58回中部日本吹奏楽部コンクール長野県大会高等学校部門	小編成	銀賞
第14回管楽器個人・重奏コンテスト 長野県大会	フルート独奏 村田綾香	銀賞
	オーボエ独奏 中川暁彦	銀賞

活躍する縣陵生



陸 上 部

男子走幅跳
県新人大会4位 2D 奥原 大輝
女子やり投げ
県新人大会4位 2D 高波 舞
女子走幅跳
県新人大会1位 1F 森本 知隼



10月24、25(日)に 石川県西部緑地公園陸上競技場にて開催された北信越新人陸上競技大会に出場しました。

弓 道 部

県新人大会
女子個人2位
2E 生川 莉子



12/24(木)～26(土)に栃木県宇都宮市にて開催された全国弓道選抜大会に出場しました。

棋 道 部

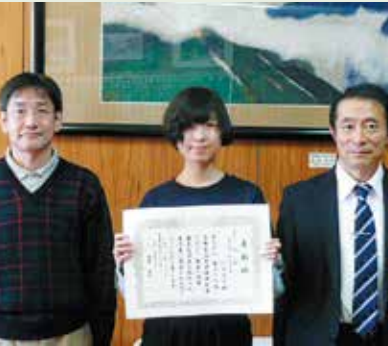
1年C組 平出純也



長野県代表として第31回北信越高等学校囲碁選手権大会および第10回全国高等学校囲碁選抜大会北信越地区予選に出場しました。

白 虹 会

2年D組 杉本萌恵



全国高等学校総文祭に県代表7作品のひとつとして2D杉本萌恵さんの作品が県代表として出品されました。応援団の様子を描いた作品タイトルは「臥薪」です。

インターナショナル部

3年H組 羽吹 駿秀 瀬黒 由稀
2年H組 羽根田 沙耶 原田 燎 降旗 海友
中野 里菜

長野県代表として第10回全国高校生英語ディベート大会に出場しました。



インターナショナル部 第1回PDA 高校生即興型 英語ディベート全国大会5位

2015年12月26日、27日、大阪府立大学 I-siteなんばで、第1回即興型ディベート大会が開催されました。本校からは3年H組羽吹駿秀くん、2年H組鈴木啓太くん、1年I組瀬戸桃子さんが出場しました。即興型ディベートとは与えられた論題について15分の準備をして、15分間のディベートをするものです。本校は第1試合「クラブ顧問は外注すべし」前橋高校(群馬)第2試合「新聞に軽減税率を適用すべし」城南高校(福岡)第3試合「昔の彼女(彼)の写真は捨てるべし」翔凪高校(千葉)第4試合「ゲイ同士の結婚を認めるべし」大阪教育大付属平野高校(大阪)を破り、全勝で予選2位となりました。

迎えた決勝ではくじ引きで予選1位の渋谷教育学園渋谷(東京)と対戦。「遺伝子組み換えは害より益がある」という論題でディベートに惜しくも敗れました。なお、最も有効な質問をしたディベーターに与えられるBest POI賞の2位(出場102名中)に羽吹駿秀くんが選出されました。



写真で振り返る縣陵の一年



松本県ヶ丘高等学校PTA会報 縣陵 129号

発行日 ● 2016年2月26日 発行 ● 松本県ヶ丘高校PTA 編集 ● 広報委員会 印刷 ● 株式会社ブラルト
<http://www.nagano-c.ed.jp/agata>

